

令和8年第7回教育委員会定例会
(4月7日開会)

台東区教育委員会

○日 時 令和8年4月7日（火）午後2時00分から午後3時05分

○場 所 台東区役所 6階 教育委員会室

○出席者

教 育 長	佐藤 徳久
教育長職務代理者	神田しげみ
委 員	川崎 修一
委 員	岩永 章
委 員	浦井 祥子

○出席者

事務局次長 兼生涯学習推進担当部長	佐々木洋人
庶務課長	山田 安宏
教育施設担当課長	中島 伸也
学務課長	仲田賢太郎
指導課長	増嶋 広曜
教育改革担当課長 兼教育支援館長	田中 繁広
生涯学習課長	吉江 司
スポーツ振興課長	榎本 賢
中央図書館長	村上 訓子

○日 程

日程第1 教育長報告

1 協議事項

（1）生涯学習課

ア 令和8年度台東区区民文化財台帳登載、指定及び認定の諮問について

2 報告事項

（1）庶務課

ア 令和8年5月の行事予定について

（2）教育施設担当

イ 教育保育施設の大規模改修等工事について

（3）学務課

ウ 令和8年度夏季施設等事業の日程について

（4）指導課

- エ 令和８年度台東区立学校園研究指定等について
- 3 その他
 - ・ 台東区文化財調査報告書等の刊行について

午後2時00分 開会

○佐藤教育長 ただいまから、令和8年第7回台東区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議録署名委員は、浦井委員にお願いいたします。

それではまず、会議に入る前に、4月1日付で新たに着任した、または兼務、事務取扱になった教育委員会の管理職から挨拶をお願いします。

はじめに、佐々木事務局次長兼生涯学習推進担当部長、お願いします。

○事務局次長兼生涯学習推進担当部長 今年度より生涯学習推進担当部長も兼務となりました佐々木と申します。引き続きよろしくお願いいたします。

○佐藤教育長 次に、山田庶務課長事務取扱事務局参事、お願いします。

○庶務課長 引き続き庶務課長でございますが、事務局参事をやらせていただきます。1年間よろしくお願いいたします。

○佐藤教育長 次に、増嶋指導課長、お願いします。

○指導課長 2年間、支援館長並びに教育改革担当課長でご指導いただきました増嶋広曜でございます。4月より指導課長になりましたので、どうぞ引き続きご指導・ご鞭撻よろしくお願いいたします。

○佐藤教育長 次に、田中教育改革担当課長兼教育支援館長、お願いします。

○教育改革担当課長兼教育支援館長 4月1日付で教育改革担当課長兼教育支援館長に着任いたしました田中繁広と申します。隣の区、文京区立第六中学校で校長を2年務めた後、こちらに着任させていただきました。よろしくお願いいたします。

○佐藤教育長 次に、村上中央図書館長、お願いします。

○中央図書館長 4月1日より台東区立中央図書館長を拝命いたしました村上と申します。戸籍住民サービス課から参りました。少しでも利用者がたくさん来ていただけるような図書館を目指してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

○佐藤教育長 以上で、教育委員会の管理職からの挨拶を終わります。

ここで、傍聴について申し上げます。

本日、会議の傍聴を希望する方については許可することとしておりますので、ご了承ください。

それではまず、審議順序の変更について私から申し上げます。日程第1、教育長報告の報告事項、教育施設担当のイにつきましては、東京都台東区教育委員会会議規則第15条第1項に該当する案件であり、傍聴にはなじまないと思われます。つきましては、傍聴人退室後、非公開で聴取いたしたいと思います。なお、非公開会議の会議録については、本来公開するものではございませんが、本定例会で非公開とした案件については、区議会報告後に公開することといたしたいと思います。

これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○佐藤教育長 ご異議ございませんので、そのように決定いたしました。

〈日程第1 教育長報告〉

1 協議事項

(1) 生涯学習課 ア

○佐藤教育長 それでは、日程第1、教育長報告の協議事項を議題といたします。

生涯学習課からアについて、生涯学習課長、説明をお願いします。

○生涯学習課長 それでは、協議事項、生涯学習課のア、台東区区民文化財台帳登載、指定及び認定の諮問についてご説明いたします。資料1をご覧ください。

本件は、台東区文化財保護条例第24条の規定に基づき、台東区文化財保護審議会に対し、令和8年度の台東区区民文化財の登載、指定等について諮問するものでございます。

例年、登載、指定する文化財について5件程度答申をいただいております。審議会から答申を受け次第、本委員会に答申内容をご報告申し上げます。

なお、台東区区民文化財台帳登載数は令和7年度末で266件、そのうち指定文化財は72件となっております。

ご説明は以上でございます。よろしくご協議の上、ご決定いただきますようよろしくお願いいたします。

○佐藤教育長 ただいまの説明につきまして、何かご質問等はございますでしょうか。

よろしいですか。

(なし)

○佐藤教育長 それでは、生涯学習課のアについては、協議どおり決定いたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○佐藤教育長 ご異議ございませんでしたので、協議どおり決定いたしました。

2 報告事項

(1) 庶務課 ア

○佐藤教育長 次に、教育長報告の報告事項を議題といたします。

はじめに、庶務課のアについて、庶務課長、報告をお願いします。

○庶務課長 それでは、令和8年5月の行事予定についてご説明いたします。資料は2をご覧ください。

まず、教育委員会の定例会ですが、12日、26日の火曜日、ともに午後2時の開会でございます。

また、1日、金曜日には、小・中学校特別支援学級のスポーツフェスティバルがリバーサイドスポーツセンター第一競技場を会場に、それから28日、木曜日には、台東区立小学校PTA連合会の歓送迎会が6時半から、29日、金曜日は、台東区立中学校PTA連合会の歓送迎会が同じく6時半から開催される予定となっております。

簡単ですが、説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○佐藤教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問等はございますでしょうか。
よろしいですか。

(なし)

○佐藤教育長 それでは、庶務課のアについては、報告どおり了承願います。

(2) 学務課 ウ

○佐藤教育長 次に、学務課のウについて、学務課長、報告をお願いします。

○学務課長 それでは、令和8年度夏季施設事業の日程について報告をいたします。資料は4をご覧ください。PDFの4ページでございます。

まず、資料左上をご覧ください。事業の一覧が記載してございます。

表の左側、小学校では館山臨海学園ほか、三つの宿泊行事を実施し、表の右側、中学校ではオリエンテーションほか、三つの行事を実施いたします。

次に、下のスケジュールをご覧ください。

上から最上段の4月でございます。4月は小・中の霧ヶ峰移動教室の实地踏査を実施いたします。

次いで、5月でございます。小学校は、紫の日光の实地踏査、続いて黄色のあすなろの里での特別支援学級宿泊訓練が実施されます。また、中学校では、5月11日からオレンジ色のオリエンテーションを、続いて5月12日からは緑色の修学旅行、5月20日からはクリーム色で書いてあります霧ヶ峰移動教室を実施いたします。中学校の移動教室は7月まで、修学旅行は9月まで、順次実施をまいります。

次いで、6月でございます。6月は4日から青色の小学校霧ヶ峰移動教室を実施いたします。小学校の霧ヶ峰移動教室は9月まで、順次実施をいたします。

7月でございます。夏季休業期間に入りますと、小学校では4年生がピンク色の館山臨海学園、6年生が紫の日光林間学園に、中学校では緑の林間学園を実施いたします。

スケジュールは以上でございますが、今年度から補助教材費等支援の対象が宿泊行事に拡大をされましたので、教育課程ではない林間学園以外は保護者の負担がなくなるという見込みでございます。

簡単ではございますが、報告は以上でございます。

○佐藤教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問等はございますでしょうか。

○岩永委員 質問でございます。

夏季の霧ヶ峰学園、非常に稼働率が高いなと思って拝見しておりました。それぞれの学校の日程調整はどのような形でなさっているのかを知りたいのですが。

○学務課長 昨年度中に学校様の希望を伺いまして、人数の制限等がございますので、そこで各学校の希望に沿うような形で、こちらで段取りをつけさせていただいているということでございます。

○岩永委員 それでは、ほぼ学校の希望は反映されているというように受け取ってよろしいですか。

○学務課長 そのように調整をさせていただいております。

○岩永委員 ありがとうございます。

○神田委員 一つ目は夏季施設の館山のほうに行くということについてです。実施した結果、何かご意見や評価などは挙がっているでしょうか。

二つ目ですけれども、例えば山などでは、熊の出没などの報道がありますけれども、気候の影響や様々な状況で配慮するという点はございますでしょうか。

○学務課長 まず、1件目の館山の件でございますが、終了後に児童に対してアンケートを取っております。授業の目的が達成できたかどうかという点につきましては、9割以上の児童が目的を達成できたと答えておりまして、授業の目的につきましては概ね達成できたと考えております。細かいご意見としまして、例えばですが、水着を干す場所にハンガーが足りないですとか、あとは時間で管理していますので、各部屋にあらかじめこちらから用意した時計を置いておかななくてはいけないんですが、ちょっとそのオペレーションがうまくいなくて、宿と再調整をしてほしいというご要望をいただいております。

また、暑い夏の真ただ中でございますので、追加で冷蔵庫をレンタルして宿に配備したんですが、そういった点は好評だったということでございますので、いただいた意見を基に、8年度、よりよいものにしていきたいと考えております。

2点目の山の熊の話でございますが、昨年度中に熊よけのスプレーと、鈴は購入をいたしまして、今年度の実施分から配備ができるようにと考えてございます。熊の出没数は、日光も霧ヶ峰も熊マップというものが現地の自治体でありまして、そこで熊の出没情報ですとか、そこでどういう行動を熊が取ったかということが記録をされております。宿泊行事の実施に当たりましては、ルートガイド等も活用しておりますので、そういった情報を集めながら安全に実施できるように配慮してまいりたいと考えております。

○佐藤教育長 神田委員。よろしいですか。

○神田委員 ありがとうございます。

海のほうですけれども、去年、館山方面の状況で中止になったようですが、別の日に行ったのでしょうか。

○学務課長 昨年度の実施で、7月30日にオホーツク海南部地震が発生をしまして、津波の警報が発令されたということから、警報が発令されている期間中は中止にさせていただきました。具体的には、石浜・松葉・浅草・東浅草の4校が中止になりましたが、いずれも冬に代替の授業を同じ館山で実施をさせていただきました。

○神田委員 ありがとうございます。

熊や気候、地震など、いろんなことで配慮すべき点も多くて大変かと思いますが、子供たちの安全をしっかりと確保しながら楽しい行事になるようお願いしたいと思います。

○川崎委員 質問というよりは、感想というかお願いですけども、館山に4年生が行くよ

うになって、たしか19校行くようになって今年で3年目ぐらいですかね。

概ねすごくいい評判を聞いています、保護者から。なかなか海に家族で行く機会が今ないので、安全管理の下に海に行けるとするのは非常に皆さん喜んでいるようです。

そこで、お願いですけども、やはり、とはいえ海の経験の少ない子供たちなので、この間ちょっと趣は違いますけど沖縄で事故とかもありましたので、ぜひ安全管理だけは十分お願いして、それで子供たちの学びの提供をお願いしたいと思います。

○岩永委員 学校を離れての教育活動になるわけですから、一番大事にすべきことは安全管理であることは間違いのないと思います。その安全管理を確実に行うためには、地元の方からの情報収集が大切だと思います。例えば、こういう風が吹いたときこういう波が来るとか、霧ヶ峰だったら熊の出没情報とか、そういった地域、地元にいращやる方の情報をいかに収集するかということです。そして、その収集した情報を学校と共有し、保護者にもきちんと発信していくということが大事ということを考えております。

さらに、学校現場とよく情報を共有しながら、安全に配慮していくべきだと思います。館山でしたら、地震発生の場合の避難場所等々の確認などをきちんとすべきです。津波も想定されるので高い場所への避難・誘導にかかる時間とか、そのルートとかを教育委員会もきちんとしたものを持っていて、こういう体制で安全管理をするという情報提供をすべきと思っております。こうした準備体制と今後の方向性について教えてください。

○学務課長 委員ご指摘の安全が第一というのはおっしゃるとおりかと思えます。

先ほどスケジュールの中で实地踏査のことについて申し上げましたけれども、实地踏査におきましては、やはり安全面での確認を重点的に行うようにしております。例えば、お話にありました館山でいきますと、实地踏査の段階で、初めてやったときの实地踏査で現地の館山の市役所の方においでいただいて、災害時の避難の経路ですとか、避難場所について確認をさせていただいて、またそれを実際行事で使用するマニュアルの中に落とし込むといったことをしております。

今年度の気づきといいますか、昨年津波で避難をした際に、教育委員会側では館山市の防災のメールマガジンに登録をしていたんですが、ただそれを学校に伝えるまでに時間がかかってしまったというようなことがあります。そういった反省点を生かして、今年度からは行かれる学校の方もあらかじめメールマガジンには登録してくださいねと、そういった細かな幾つかの気づきがございます。

いずれにしても、行事は夏季施設等運営委員会の中でノウハウを蓄積していくような仕組みでございますので、そういった反省事項を蓄積していった、よりよいものにしていきたいと考えております。

○岩永委員 あわせて实地踏査のときに実際に足を運び、実際の感覚として、何分かかるのかなどをやってみるのがとても大事だなと思っております。实地踏査のルート、計画を立てる段階でぜひそれも取り入れていただければと思っております。

以上です。

○佐藤教育長 そのほか、よろしいですか。

(なし)

○佐藤教育長 それでは、学務課のウについては、報告どおり了承願います。

(4) 指導課 エ

○佐藤教育長 次に、指導課のエについて、指導課長、報告をお願いします。

○指導課長 それでは、令和8年度台東区立学校園研究指定等についてご報告いたします。
資料5をご覧ください。表の右の備考欄と併せましてご覧いただければと思います。

台東区教育委員会の研究指定校として、今年度、育英幼稚園と松葉小学校。

東京都教育委員会の人権尊重教育の研究指定校として、東浅草小学校と石浜小学校。

台東区教育委員会の人権尊重教育推進校として、富士小学校。

TAIT0フューチャースクールのモデル校として、上野小学校と駒形中学校。

以上が、今年度、研究発表や成果発表を行う学校でございます。それ以下は、区の研究指定、国の人権教育の研究指定として、単年度または今年度と来年度の2年間にわたり研究に取り組んでいく学校園でございます。今後、研究主題または副主題を変更する可能性がある学校につきましては、【仮】としております。

今年度も研究発表の開催に当たりましては、教育委員の皆様にはご出席いただくとともに、ご挨拶をいただきたく存じますので、何とぞよろしくお願いをいたします。

報告は以上でございます。

○佐藤教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問等はございますでしょうか。

○浦井委員 すみません。ちょっと基本的なところで教えていただきたいというか、確認をさせていただきたいんですけれども。こちらの今回指定された小・中学校なんですが、それぞれこういうものをやるからということで学校のほうから手を挙げられて決まったものなのか、それとも教育委員会のほうから声をかけて決まったものなのか。ある程度お分かりになる範囲で構いませんので教えていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

○指導課長 研究指定校につきましては、例年1月頃に各学校に研究の指定についての協力学校の応募をして、その結果によって選定しているようなところでございます。

また、TAIT0フューチャースクールにつきましては、検討委員会を含めたモデル校指定ということもありますので、こちらは教育委員会から学校を指定しまして選定しているところでございます。

○浦井委員 ありがとうございます。

ものによるかとは思いますが、応募をかけたときに、やはり学校にとっては、これをやるとなると、負担という言葉がいいか分からないですけれども、それなりに大変なものがあると思います。それでも結構手が挙がるものなのか、それとも挙がりにくいものなのか。実際に、なかなかどの学校からも手が挙がらないとなると、やはり負担が大きいなど

の要因があるのかなというふうにも思いまして。挙がりにくいもの、挙がりやすいものがあるのは当たり前だけれども、ちょっとその辺りを知りたかったので。大変答えにくい問題で恐縮ですが、お聞きできたらと思います。お願いします。

○指導課長 まず校内研究につきましては、全校でそれぞれのテーマを持って、年間を通じて授業改善または校務改善等を含めまして取り組んでいるところでございます。

研究協力校の応募につきましては、ちょっと私は、すみません、数は承知していないんですけれども、その中で広く成果を波及したいという学校の取組に資するものかと思っています。

また、委員ご指摘の教員の負担というところにつきましては、昨今非常に取り沙汰されているところでございます。様々な議事録なり、研究のまとめを作るという作業等にある程度膨大な時間がかかることも承知していますけれども、今年度から全校にGoogle Workspaceを導入することによって、それぞれの議事録を自動生成AIでまとめたりですとか、協議したものをまとめたりであるとか、また国や都の資料等についても概要を作成して、理解を進めたりといったところで、さらに研究が加速してやりやすいものになるようなところは期待しているところでございます。

以上です。

○浦井委員 ありがとうございます。研究の発表会などを聞かせていただくと、やはり大変であっても得るものは大きかったんだということを、毎回感じるところです。ですからできるだけ負担のない範囲で、どんどん応募して手を挙げていただけたらいいような形に導いていただけたらなというふうに思います。よろしくお願いします。ありがとうございます。

○神田委員 今、浦井委員が質問されたことは、私も同じように聞きたかったことです。

今のご回答を聞いていましたら、学校に偏りなく、どの学校も何年かに1回など、自主的に受けたり、指定されたりというようなことで、区全体で研究が進められているというふうに捉えてよろしいでしょうか。

そして、働き方改革も今言われていますので、その中で効率的に、そして効果が上がる研究を今後も進めていただきたいと思いますと感じました。

2点目です。成果を広げるためには、発表して終わりではなくて、発表した後、その取組はスピード感が必要かと思います。大事なことは全校に公表したり、広げたりして同時進行的な研究も必要かと考えております。研究校だけにとどまらず、研究成果を上げてほしいと思っています。

3点目ですけれども、研究テーマについては自主的に決める学校が多いのでしょうか。それとも、ある程度区の方針、また都や国の方針に沿ったものを推奨していくような進め方なのでしょうか。

3点、ちょっとお伺いしました。

○指導課長 まず1点目でございますけれども、本区は特に人権課題等を研究として長く

進めてきていた歴史と伝統がございます。どうしてもそういった研究指定を引き受けている学校というところが固定化している向きはございますけれども、その成果は台東区内にとどまらず、東京都にも広げているところでございます。ただ、人権以外の課題の研究となりますと、どうしても少し偏りのあるような向きもございますので、広く様々な学校がこの研究指定に手を挙げていけるように引き続き指導してまいりたいと思っております。

2点目でございますけれども、研究をリアルタイムで共に学んでいくという委員のご指摘、まさにこれからの研究の在り方を方向づける取組かと承知しております。これにつきましては、教育改革担当課長の領分でもございますけれども、TAITOフューチャースクールでまさに今年度、研究をその学校だけではなくて広く区内の学校に声をかけ、一緒に研究授業を共に学んでいくという形で、小・中合わせて年間10回以上の公開授業を計画しているところでございます。2月22日がその集大成となるべく、3年の授業のまとめとしての位置づけで各学校進んで、今、気合を入れて取り組んでいるところでございますので、ぜひ全委員の方にご参加いただければありがたいなと思っております。

3点目でございますけれども、研究テーマにつきましては、研究協力校のテーマということではこちらが示すところでございますが、研究主題については各学校、教職員や子供たちの実態に応じて学校で立てているものでございます。研究主題の設定につきましては、全て学校は適切なものをしっかりと理由づけを持って進めておりますので、そのまま各学校に委ねたいと考えております。

以上でございます。

○神田委員　ありがとうございます。

研究というのは先生方が忙しい中でも子供たちのために、指導力アップをねらっていくには大変大切なものです。今、回答をいただきました、リアルタイムで研究を進めていくという辺り、10回以上の公開授業というのは大変素晴らしいことだと思います。計画的に進められていることを大変ありがたく思います。私もしっかり授業を見たり、参加していったりしたいと思っています。

○岩永委員　関連した質問です。私は中学校で学校教育を長らくやってまいりましたので、研究指定校を学校として受けることの難しさを、身をもって経験してまいりました。区内でこれだけの学校が研究指定校を受けて研究されるということに対しまして、素晴らしいことだと受け止めております。

一方で、なぜ、研究指定校を受けるのが難しいかということを考えますと、やはり先生方の負担感が大きな要素だと分析しています。忙しくなる、日々の仕事と同時に研究もしなければいけない状況になるということです。いわゆる「やらされ感」が先生方の中にどうしても生じてしまい、そこがネックになっています。しかし、いざ研究を進めると、だんだんその重要性を先生方一人一人が認識するようになり、研究内容が深まり、最終的にはそれぞれの学校で意味のある研究発表がなされるという経過をたどることが多くあります。

そこで提案があります。負担感の大きな要素としては、研究紀要の作成、研究授業・研究発表会の実施などが、固定化しているように感じています。こうした発表のスタイル的なものが教育界にはありますので、そのスタイルにつきましては少し柔軟に考えていくことが学校の負担感の軽減につながると考えています。研究発表の方法などについても、ICTを使ったり、AIを使って書類作成をしたり、資料配付もデータ配付に変えたりと、工夫できそうなことがたくさんあると思います。ぜひフューチャースクールの成果発表にはこうした工夫を取り入れた研究発表会を行い、いろいろな学校で活用できるように働きかけていただければということが1点目でございます。

2点目は、どの学校も内容のある研究をされていてすばらしいなと思う一方、「もったいない」という気がしてなりません。その理由は、研究したことがその学校の中にとどまってしまうがちなで、それが周りの学校に普及していかないところが見られ、少し残念だなというように思っております。研究内容の普及につきましても、全ての学校の先生方の意識の変革も必要でしょうし、研究を進めること自体の意義についても共有していく必要があると考えます。そうした視点で学校や園に働きかけていく必要があるのかなということ2点目でございます。

それから3点目は、研究指定校に限らずそれぞれの学校で毎年研究テーマを定めて学校の実態に即した研究を進めているはずですが、その中にも光る研究が必ずあるかと思っています。そうした素晴らしい研究成果を学校間の横のつながりで共有していくこと、先生方の情報収集が手軽にできるようになると、区全体の教育の質が向上するのではないかと考えております。こうした研究内容に共有システムにつきましては、教育委員会の方で普及方法の研究を進めていただけると大変ありがたいと思います。

以上、3点でございます。

○指導課長 まず1点目のご提案ですけれども、脈々とあるスタイルに対してどのように柔軟に取り組んでいくかというところですが、TAITOフューチャースクールの取組については各学校、類似して取り組めるような要素があるかと思っております。ただ、これが2月にとか、年度末にではなくて、早速ですけれども今週の教務主任担当者研修においてGoogle Workspaceを使った校務改善を含めたレクチャーを入れる予定でございますし、研究主任の担当者に対しましては5月の中旬にGoogle Workspaceを使った、効果的な研究の進め方について上野小学校の取組をベースに共有して、早速1学期から使用していただけるような形で、少しでも先生方のご負担が減る、また減った分、研究の内容にさらに進めていけるような働きかけができるように計画をしているところでございます。

2点目のどの学校も内容のある研究があるけれども、その学校にとどまってしまっているのではないかとということのご指摘につきましては、そういった課題として受け止めているところでございます。現在も、台教研としても、台東区内の学校で協力した研究内容を進めているところでございますので、各学校の研究の成果というのはそれぞれの台教研の評価部会の中でも、その成果を利用しながらというか、活用しながらさらにその研究を

進めていけるような体制を取れないか、台教研の会長ともこの後さらに協議を進めながら、ご協力していただけるよう働きかけてまいります。

3点目のものについても、台教研をいかに活性化するかというところにおいて課題解決できるものと捉えますので、この後、校長会と連携して進めてまいりたいと、ご指摘を受け止めて改善してまいりたいと考えます。

また、光る研究がございますので、指導主事の訪問も適宜行って、そのよさというのを教育委員会としてもしっかり把握してまいりたいと思っております。

○岩永委員 ぜひお願いいたします。台東区は向上心のある先生方が多くいる地区だと私は受け止めております。是非その先生方の研究意欲をまとめ上げて、質の高い教育が提供できるようにご尽力いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○佐藤教育長 そのほか、よろしいですか。

(なし)

○佐藤教育長 それでは、指導課のエについては、報告どおり了承願います。

本日の案件は以上になりますので、それでは、会議の冒頭に申し上げましたとおり、これより会議は非公開といたします。

恐れ入りますが、傍聴人の方はご退出のほうをお願いいたします。

(傍聴人退出)

○佐藤教育長 非公開の会議録署名委員につきましては、定例会に引き続き、浦井委員にお願いいたします。

〈日程第1 教育長報告〉

2 報告事項

(2) 教育施設担当 イ

○佐藤教育長 それでは、日程第1、教育長報告の報告事項を議題といたします。

教育施設担当のイについて、教育施設担当課長、報告をお願いします。

○教育施設担当課長 それでは、報告事項の教育施設担当のイ、教育保育施設の大規模改修等工事について、PDFの7ページ、資料3をお開きください。本件は、教育保育施設の大規模改修等工事の進捗状況について報告するものでございます。

教育保育施設の大規模改修等工事についてです。

項番1、金曾木小学校です。

(1) 目的です。金曾木小学校は、現在の利用状況と今後の学校区域の就学前人口と人口推計を踏まえて、学級数増に対応するため、大規模改修に並行して校舎を一部増築し、必要教室とその増加に伴う管理諸室等を確保いたします。

続きまして、(2) 施設概要は、記載のとおりです。

続きまして、(3) 工事予定です。令和7年3月に仮設校舎へ移転が完了いたしました。令和7年4月から8年12月まで大規模改修・増築工事を実施いたします。令和9年1月から本校舎へ移転し、運用を開始いたします。令和9年1月から4月まで仮設校舎解体工事を実施し、令和9年5月から8月まで校庭等環境整備工事を実施いたします。

続きまして、(4) 校庭等代替場所です。体育授業で使用する校庭や体育館につきましては、柏葉中学校を使用しております。また、プール授業やマット運動、跳び箱、ダンスなどは、近隣区の民間スポーツ施設にバス送迎を行い、利用しております。

続いて、項番2、東泉小学校・東泉こどもクラブです。

(1) 目的です。大規模改修工事を実施することで施設の長寿命化を図り、安全で良好な教育環境を整備します。また、省エネルギー型の空調設備、電気設備への更新を行うことにより、環境負荷の少ない教育施設に転換します。さらにバリアフリー化を進め、全ての利用者に配慮した施設とします。

続きまして、(2) 施設概要は、記載のとおりです。

恐れ入ります、次のページをお開きください。(3) 工事予定です。令和8年3月、仮設校舎へ移転します。令和8年4月から9年8月まで大規模改修工事を実施いたします。令和9年9月に本校舎へ移転し、運用を開始いたします。令和9年9月から12月まで仮設校舎解体工事を実施し、令和10年1月から4月まで校庭等環境整備工事を実施いたします。

続きまして、(4) 校庭等代替場所です。体育授業で使用する校庭や体育館につきましては、たなかスポーツプラザの体育館及びグラウンドを、毎週火曜日と木曜日の午前中、使用いたします。また、プール授業やマット運動、跳び箱、ダンスなどは、金曾木小学校と同様に、近隣区の民間スポーツ施設にバス送迎を行い、利用いたします。

続いて、項番3、田原小学校・田原幼稚園です。

(1) 目的ですが、前項と同様のため省略いたします。

続いて、(2) 施設概要は、記載のとおりでございます。

続いて、(3) 工事の予定です。田原小学校は校庭に仮設校舎を建設しない、居ながら工事で大規模改修を実施いたします。令和8年7月から13年3月まで、4年半、夏休みを中心とした大規模改修工事を実施いたします。令和13年4月から8月まで校庭等環境整備工事を実施いたします。

続いて、項番4、駒形中学校・北上野こどもクラブです。

(1) 目的は、前項と同様のため省略いたします。

続きまして、(2) 施設概要は、記載のとおりでございます。

恐れ入ります、次のページをお開きください。(3) 工事予定です。令和8年8月に第1校庭に建設した仮設校舎へ移転いたします。令和8年9月から9年12月まで大規模改修工事を実施いたします。令和10年1月から本校舎へ移転し、運用を開始いたします。令和10年1月から4月まで仮設校舎解体を実施いたします。令和10年1月から10月まで仮設校舎解体工事に影響のない第2校庭から校庭等環境整備工事を実施いたしまして、解体工事完了後、第1

校庭を整備いたします。

続きまして、(4)校庭等代替場所です。駒形中学校は、授業のほかに部活動があるため、上野小学校、金竜小学校、松葉小学校、清島温水プール、リバーサイドスポーツセンターを利用いたします。

続いて、項番5、御徒町台東中学校です。

(1) 目的は、前項と同様のため省略いたします。

続きまして、(2)施設概要は、記載のとおりでございます。

続きまして、(3)工事予定です。令和7年から8年度にかけて基本設計・実施設計を実施いたします。令和8年7月から9年7月まで仮校舎として使用するための旧柳北小学校改修工事を実施します。そのため、校庭の一部がストックヤードになるなど、工事エリアになります。令和9年8月に仮校舎となる旧柳北小学校へ移転します。そのため、校庭も学校施設として令和11年3月まで使用いたします。令和9年9月から11年3月まで大規模改修工事を実施いたします。令和11年4月から本校舎へ移転し、運用を開始いたします。令和11年4月から8月まで校庭等環境整備工事を実施する予定でございます。

続きまして、(4)校庭等代替場所です。体育授業等で使用する体育館やプール等は柳北スポーツプラザなどを利用する予定でございます。

続いて、項番6、金竜小学校・金竜幼稚園です。

(1) 目的は、前項と同様のため省略いたします。

恐れ入ります、次ページをお開きください。(2)施設概要は、記載のとおりでございます。

続きまして、(3)設計予定です。令和8年から令和9年度にかけて基本設計及び実施設計を実施いたします。

長くなりましたが、説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

○佐藤教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問等はございますでしょうか。

○浦井委員 すみません。二つ質問なんですけれども。一つ目が、金曾木小学校がこちらの(1)の目的のところで、今後の学校区域の就学前人口と人口推計を踏まえて、学級数増に対応するためというふうにお書きになっていらっしゃる点について確認させていただきたいです。こちらは実際どのような推測を立てて、どういうふうに、特に学級数増がどういう見込みを立てていらっしゃるのか。お分かりになる範囲で構わないので教えていただけたらというのが一つ。

二つ目が、田原小学校が居ながら工事を行われるというふうにおっしゃっていたんですけれども。こちらには夏休み等を中心に4年間となっていいらっしゃるんですが、夏休み以外の子供たちが実際に学校にいる期間も何かしら工事が進むことはあるのかというのを教えていただきたいと思います。その二つ、よろしくお願いいたします。

○学務課長 1点目のご質問の教育人口の予測について、学務課から申し上げます。

学務課では、通学区域に現在住んでいらっしゃる方の人数と年齢、そこから実際小学校

に入学される方の率、減っていく傾向にありますので、その率を減衰率と呼んでおります。減衰率を毎年掛け合わせまして、また人口の推移につきましては、企画課の人口推計等を使いまして、組み合わせて、将来的にその学区域に何人の方が入学をされるかというところから、35人学級を前提としまして何学級編制されるかということを推測しております。その教育人口推計を教育委員会内で共有をしまして、大規模改修ですとか、そういったものに役立てているというところでございます。

現時点の金曾木小学校の予測の学級数でございますが、最も増えるのが令和19年度に18学級になるということが今時点では予測されています。毎年、これは推定をし直しますので、これにつきましては今後変動する可能性はありますが、今申し上げたような作業をすると、金曾木小学校については18学級が推定されるので、そこに対応できるような形で工事をさせていただくということでございます。

○教育施設担当課長 二つ目のご質問について、まず田原小学校の居ながら工事の経緯ですが、令和5年度から6年度にかけまして、校庭に仮設校舎建設を予定していた借上げ事業が3回不調になりました。当時の理由といたしましては、全国的な働き方改革による人員の減と、能登半島地震復興支援が優先な状況になりまして物資がなくなってしまったということもございました。金額が合う・合わないではなく、人手不足と物が無いということで、事業者さんのほうが受注していただけなかったという現状が続いたものですから、令和6年度に仮設校舎を校庭へ建設しない、居ながら工事で大規模改修をするということにシフト変更をさせていただきました。

田原小学校さんに関しましては、体育室が大きかったり、教室数にゆとりがあったり、多目的スペース等ございましたので、移動しながら大規模改修工事が可能であることから関係で居ながら工事という形にかじを切りました。

また、ずっと居ながら工事と先ほど説明したとおり、移動しながらの大規模改修工事ということになりまして、4年半の間工事対象エリアの児童たちと幼稚園の園児たちを空き教室や体育館など移動しながら大規模改修工事という形でやる方向になりました。

夏休み以外にも普段から工事はやっておりますが、夏休みも引き続き同じで、工事は移動しながらで、エリアを分けて工事を着手する予定でございます。

○佐藤教育長 浦井委員、どうぞ。

○浦井委員 ありがとうございます。

一つ目の質問のほう、分かりました。ありがとうございます。

二つ目の質問のほうですが、居ながら工事ということで、子供たちがいる環境下でもやっているということですので、当然のことではあるんですけども、一層安全に留意していただきたいということをお願いしておきたいと思います。

御徒町台東中も一時的に校庭がストックヤードになるというふうにおっしゃっておられましたし、やはりいずれの学校もどうしても影響は出ると思います。なので、田原小に限らず安全に留意してほしいというお願いと、それとこちらをお願いなんですけれども、先

日私、金曾木小学校の卒業式に伺わせていただきましたが、やはり柏葉中でなさったということが、子供たちにも、教員の方々のほうにも不便があるようでした。やはり、どうしてもいろいろな教育環境の難しさなどの不便が出てくると思いますので、ぜひそういったところにも目を配って、何か助けられることがあれば手を差し伸べるようにしてあげていただけたらなと思うところです。よろしくお願いいたします。

○岩永委員 校舎の改修を時系列で見ますと、現在ある校舎が今後続いていくと考えております。鉄筋コンクリートの校舎を昭和の40年代ぐらいから始まり、築60年を超える校舎が増えてくる状況です。

台東区の場合には大規模改修で対応する方針を立てて、それに応じた形で計画的に改修に取り組んでおります。その際、台東区の学校施設、校地の大きさを見ますと、校庭の広さとか校舎の大きさ、教室数などにあまり余裕のない施設状況になっているところが多くあります。大規模改修に入ったときに教育活動に多少の支障が出ざるを得ないと受け止めております。

そういう状況を考えますと、校舎改修の年回りに在籍している子どもたちが不利益を感じないように、改修期間中に在籍する子どもたちに対しては、改修のない学校の子どもたちに劣らない学習環境の整備が必要かと思っております。その点に関する手立てを学校とよく協議しながら進めていただきたいと願っております。特に、体育関係の活動場所の確保と環境整備は、子供たちの心身の健康にとって大切な視点ですので、十分に検討していただきたいということが1点目です。

それから、2点目は田原小学校の居ながら工事です。田原小学校は比較的小さな規模の学校です。教室の割り振りも厳しい状況にあらうかと推定しています。ですから、居ながら工事の段取りや手順につきましては、相当練っていかないと子供たちの学習活動に影響が出てくるかなと受け止めております。

私の記憶ですと、上野中学校が居ながら工事で大規模改修したと記憶しています。現在、上野中学校はとてもよい環境が整った中で教育活動が進められている状況です。是非そのノウハウを引き継いでいただいて、今後の改修の方向に生かしていただければと思っております。

以上です。

○教育施設担当課長 先ほど岩永委員がおっしゃられた平成28年に上野中学校を居ながら工事で大規模改修工事をいたしました。それを基に、令和7年度、田原小学校の再設計委託を居ながら工事という方針に変えて、1年間かけて入念にチェックしましたので問題ないかと思っております。よろしくお願いいたします。

○川崎委員 大規模改修で校舎を長く使うというのは、これは世界の流れで、非常に重要なことで、あまりネガティブではないと思っています。

居ながら工事に関しても、これはぜひ改修の技術が、日本はすばらしいので、子供たちにもぜひ学びの場にするべきだと思います。見せたほうが良いと思います。あまり囲わな

いで。実は日本にはそういう事例がたくさんあります。建設業は担い手不足なので、仕事としても見せてあげたほうがいいのかなというふうに思っているのが1点と、あともう一つは、やっぱり既存のコンクリートを壊さないで活用していくというのはCO2削減にすごく効果的です。だからこそ、それらの省エネに関しても、せっかくなので教材として使ったほうがいいと思っていますので、ぜひその点を考慮して、居ながらとか、使い続けることをネガティブではなく、これは未来の技術なんだと、ちょっと発想を転換して学びの場にしていただいたほうがいいかなと思います。ぜひその点も考えていただければと思います。

以上です。

○岩永委員 すみません、私からもお願いがあります。改修後の教室環境についてです。今、教育方法・内容が大きく変わってきております。ICT機器活用とか、個別最適な学びの提供が進められています。この改革は、いわゆる四角い教室の中に子供たちを入れて、そこで授業を行うというスタイルがどんどん変わっていくことを示しています。

こうしたこれからの指導に耐えられる教室のつくりや設備などについて、様々な先進的な校舎を調べていただき、改修の取り入れていただければと願っております。既に基本設計は終わっている学校もあろうかと思いますがこれからの校舎改修にあたって、多方面から情報を集め、本区の改修に生かしていただきたいと思います。幸いにも台東区はオープン教室スタイルの校舎が多く、今、その造りがとても機能している状況があります。過去において、先見性のある校舎改築を行ったと評価しております。これから改修される学校施設でも改修レベルを上げ、使いやすい教室を造っていただきたいと思っています。

以上です。

○教育施設担当課長 駒形中学校に関しましては、TAITOフューチャースクールのモデル校になっておりますので、今回大規模改修工事をする中で、教室と廊下にある隔たる壁を全部可動間仕切りに変えさせてもらってオープンにできたり、教室後方にある黒板を全部ホワイトボードに変更したり、各教室に隣接する多目的ホールの天井部分にロールスクリーンボックスを設置したり、壁面にホワイトボードを設置したりなど様々な利用方法に対応できるよう改修する予定でございます。

○佐藤教育長 そのほか、よろしいですか。

(なし)

○佐藤教育長 それでは、教育施設担当のイについては、報告どおり了承をお願いいたします。

3 その他

○佐藤教育長 本日の会議については、以上になります。

その他、ご発言等はございますか。

よろしいですか。

(なし)

○佐藤教育長 以上をもって、本日予定された議事日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、本日の定例会を閉じ、散会いたします。

午後3時05分 閉会